

Interview ボランティアの声

学校応援ボランティアとして活躍されているみなさんに、活動をはじめたきっかけや思い、やりがいなどを聞きました。



小学生にノコギリの使い方を教える花井さん

孫を見守るような気持ちで

私には孫がいますが、遠くに住んでいるのでなかなか会えません。そこで、身近な子どもたちを孫と同じような気持ちで見守ってあげたいという思いからボランティア活動を始めました。活動を通して子どもたちと接することで、逆に私が元気をもらっています。



花井 忠さん



鈴木 恵子さん

仲間と活動 自分たちの楽しみにも

何でも買える時代ですが、なるべく子どもたちには手作りで昔ながらの味を知ってほしいと思い、子どもたちに郷土料理を伝える活動に参加しています。活動できるのも協力してくれる仲間たちの後押しがあるからこそ。半分はボランティアとして、残り半分は自分たちの楽しみでもあります。



小学生に郷土料理を紹介するボランティアのみなさん



▲幼稚園児にことばの演奏を教える幸子さん

▼小学生に字の書き方を指導する良一さん



目を輝かせる子どもたちの姿がやりがいに

自分が好きなものを、子どもたちが興味を持って吸収してくれることがうれしいです。その姿は自分を映した鏡のようで、「自分がやっていることは間違っていないんだな」とも思えます。子どもたちが目を輝かせる姿を見れば、必ずしも勉強に関することでもなく、自分が子どもたちの役に立てるということを実感できると思います。



高橋 良一さん
幸子さん



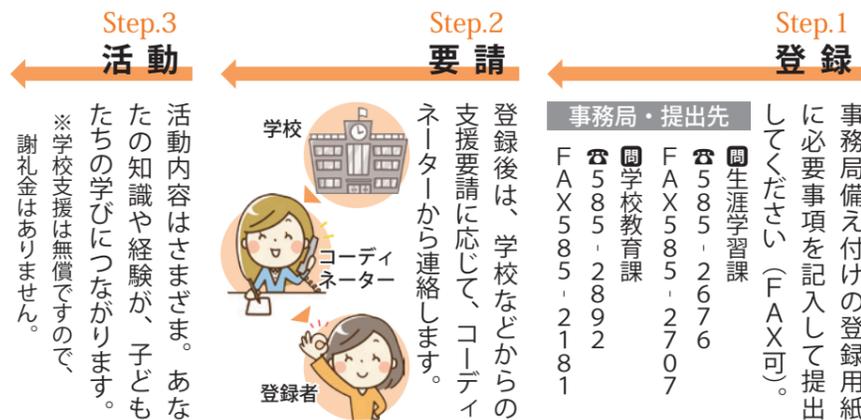
『さつまいもパーティー』で感謝を伝える子どもたち

『さつまいもパーティー』（昨年11月29日）
国見小学校2年生は、生活科の授業でさつまいもの栽培に挑戦。収穫したさつまいもで「茶巾絞り」を作り、これまでさまざまな授業に協力いただいたボランティアのみなさんを招いてパーティーを開催。感謝の気持ちを伝えました。

「できることを、できるときに、できるところから。」
学校応援ボランティアは、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てることを目的とした「地域の学校応援団」です。現在、町内をはじめとする幅広い世代・職業の方約150人が登録し、保育所や幼稚園、小中学校でさまざまな活動をしています。子どもたちの笑顔のため、そして自分自身の生きがいのために。あなたの知識や経験、時間を生かして「できることを、できるところから」、ボランティアにチャレンジしてみませんか？

“ボランティア”と聞くと「特別なこと」と思うかもしれませんが、実際は、自分も子どもたちと一緒に楽しむことができる身近な活動です。学校応援ボランティアの活動には、特別な知識がなくてもできることがたくさんあります。募集は随時受け付けていますので、気軽にご相談ください！

ボランティアの登録から活動までの流れ



学校支援コーディネーター 佐藤真理子さん

地域コーディネーター 中野由起子さん

学びの場に、地域の力を。学校応援ボランティア募集

総合学習・体験活動の支援

活動内容 ● こんな活動をしています ●

- 普遊の体験
- 豆腐作り体験
- 読み聞かせ
- 登下校・校外活動の見守り
- etc.

